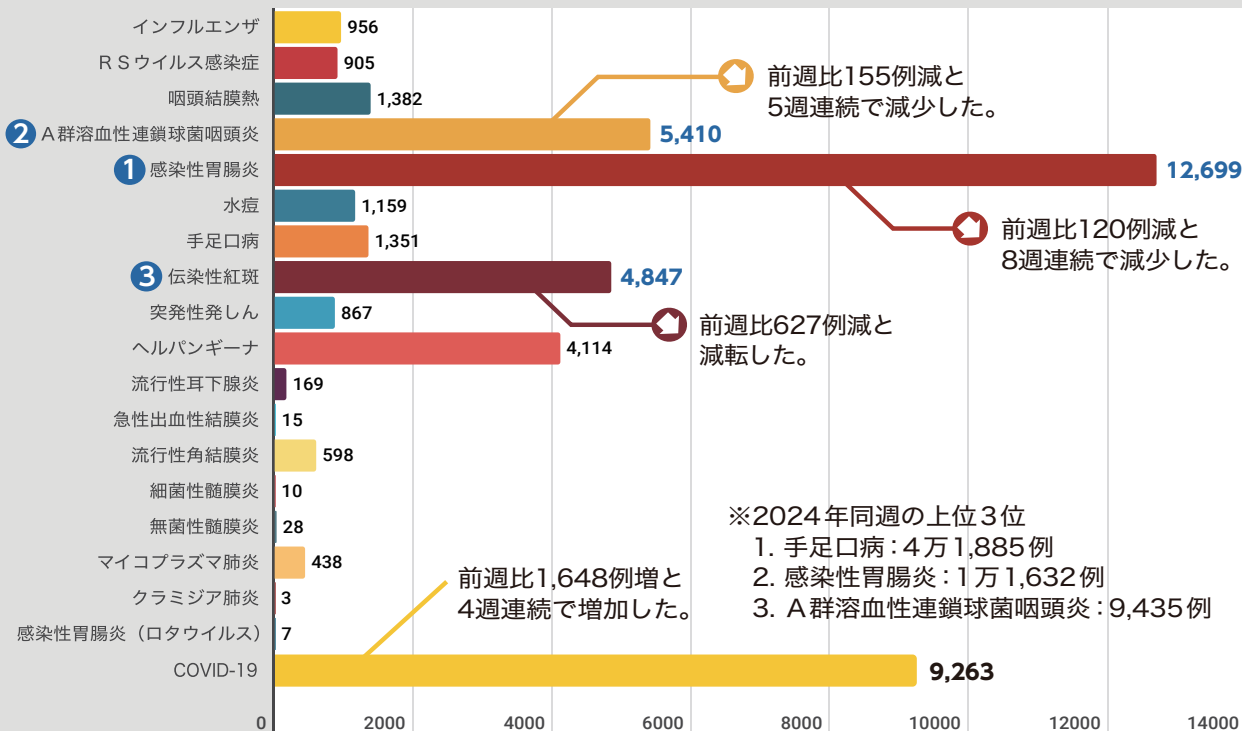




国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイトが発表する感染症発生動向調査週報「定点把握疾患(週報告)、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

水痘4県で注意報、コロナ4週連続で増加

丸数字は上位3位 ※COVID-19は除く



(国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイトのデータを基に編集部作成)

① 感染性胃腸炎

報告数

1. 東京都: 1,621例
2. 大阪府: 927例
3. 神奈川県: 741例

定点当たりの報告数(5.39)

- | | | | |
|---------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 愛媛県: 10.00 | 4. 宮崎県: 8.13 | 7. 群馬県: 6.88 | 10. 京都府: 6.21 |
| 2. 岐阜県: 9.15 | 5. 岩手県: 7.04 | 8. 山形県: 6.56 | 11. 兵庫県: 6.17 |
| 3. 大分県: 8.56 | 6. 石川県: 6.93 | 9. 埼玉県: 6.23 | 12. 東京都: 6.14 |

② A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

報告数

1. 東京都: 726例
2. 埼玉県: 460例
3. 千葉県: 372例

定点当たりの報告数(2.30)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 栃木県: 5.30 | 4. 佐賀県: 3.58 | 7. 京都府: 3.36 | 10. 福岡県: 3.00 |
| 2. 愛媛県: 5.00 | 5. 茨城県: 3.53 | 8. 富山県: 3.31 | 11. 鳥取県: 2.95 |
| 3. 埼玉県: 4.14 | 6. 宮崎県: 3.53 | 9. 千葉県: 3.21 | 12. 宮城県: 2.87 |

③ 伝染性紅斑

報告数

1. 大阪府: 469例
2. 北海道: 382例
3. 愛知県: 252例

定点当たりの報告数(2.06)

- | | | | |
|---------------------|---------------------|---------------------|----------------------|
| 1. 山形県: 5.76 | 4. 富山県: 4.00 | 7. 三重県: 3.73 | 10. 福島県: 3.32 |
| 2. 島根県: 4.64 | 5. 群馬県: 3.92 | 8. 石川県: 3.57 | 11. 新潟県: 3.27 |
| 3. 栃木県: 4.41 | 6. 北海道: 3.75 | 9. 長野県: 3.37 | 12. 秋田県: 3.23 |

※その他、13府県が警報基準値(2.00)超え

今週の感染症動向

感染性胃腸炎は前週比120例減と8週連続で減少した。A群溶血性連鎖球菌咽頭炎は155例減と5週連続で減少した。伝染性紅斑は627例減と減少に転じ、定点当たりの報告数が警報レベル(2.00)を超えた地域は、前週の29道府県から25道府県(山形県、島根県、栃木県、富山県、群馬県、北海道、三重県、石川県、長野県、福島県、新潟県、秋田県、和歌山県、宮城県、福岡県、福井県、大分県、静岡県、奈良県、大阪府、愛知県、茨城県、滋賀県、兵庫県、広島県)に縮小したもの、依然広い地域で流行が続いている。COVID-19は前週比1,648例増と4週連続で増加した。沖縄県では、定点当たり報告数が第24週以降4週連続で増加し18.04になった。特に60歳以上で報告が多く、夏季休暇に向けて注意が呼びかけられている。水痘は225例増と増転し、定点当たりの報告数は埼玉県(1.48)、大分県(1.39)、神奈川県(1.04)、滋賀県(1.00)で注意報レベル(1.00)を超えた。